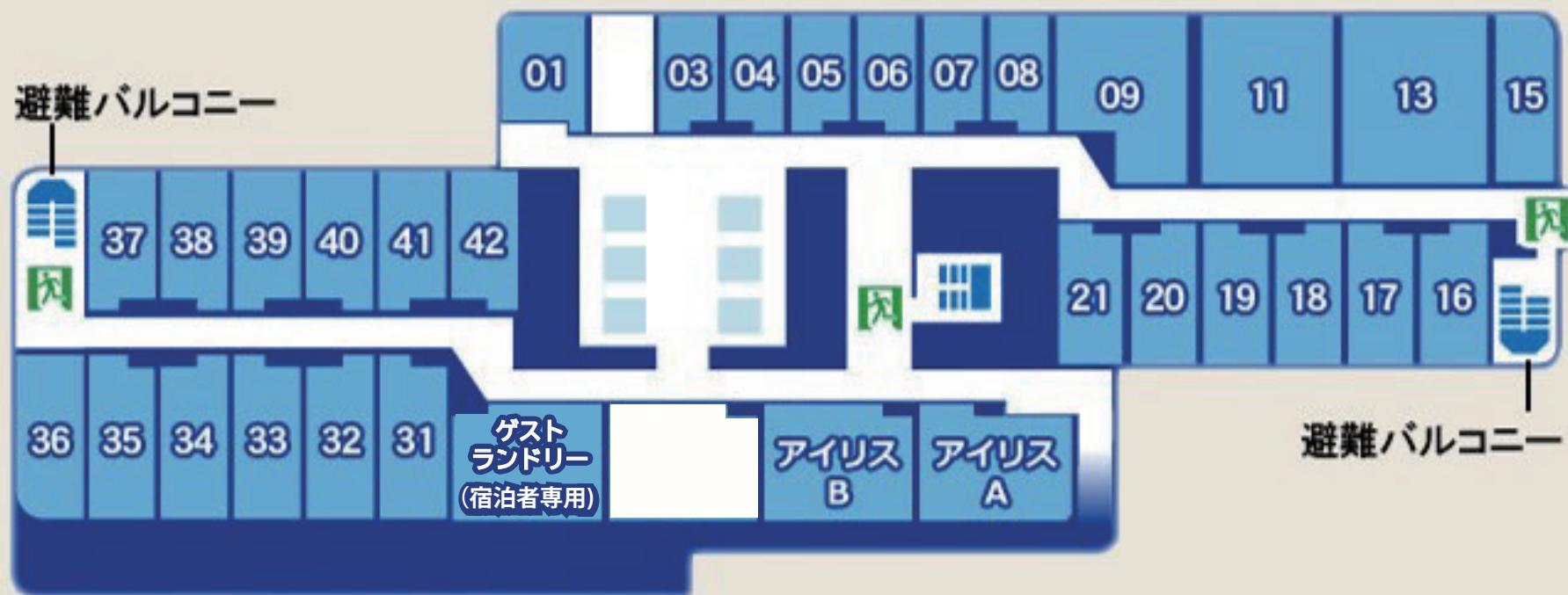


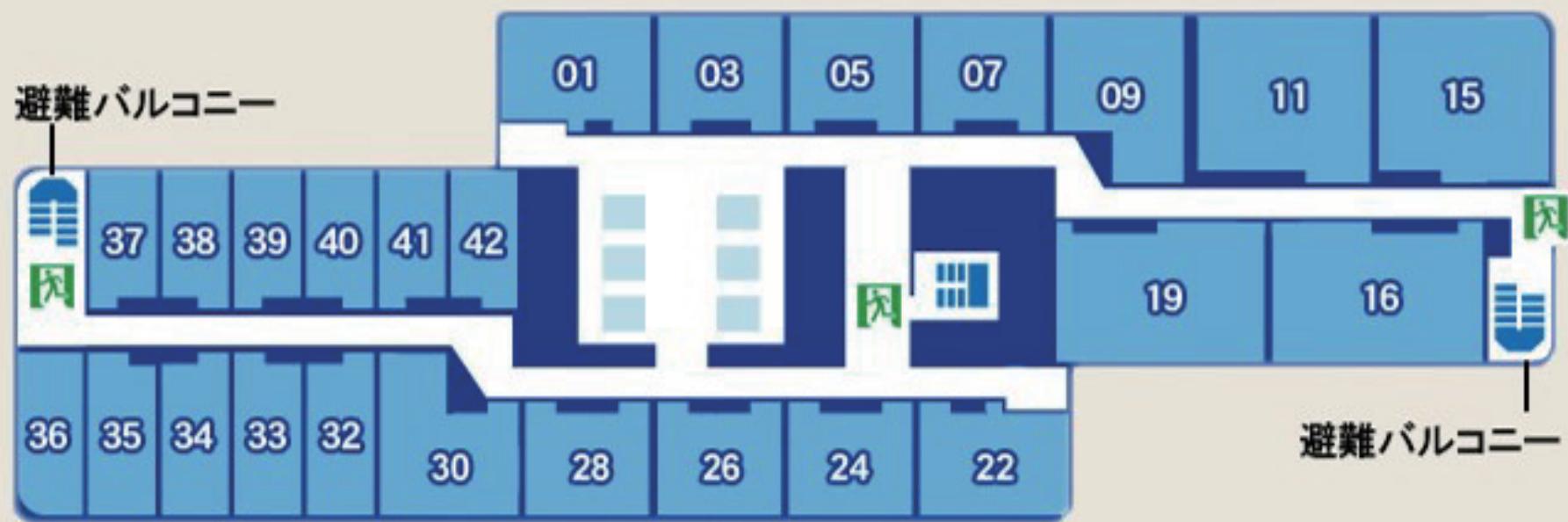
非常口のご案内(5F)



非常口のご案内(6F~23F)



非常口のご案内(24F)



防災のご案内

お客様へ

当ホテルの建物は強い地震にも十分耐えうる安全な耐震構造とともに最新の防災設備を整え、常時社員による災害発生に備えた各種防災訓練を行い、24時間の防災体制を整えております。

また、当社では消防関係法令に基づく設備及び防火管理等について定期的に点検し、お客様の安全確保を図っております。

尚、ベッドでの喫煙および、禁煙室での喫煙は固くお断りいたします。

非常口をご確認ください

- ・お部屋のドアに非常口を示した避難経路図を掲示しております。
- ・非常口へは、どのお部屋からも2方向の避難路がございますので誘導灯に添ってご確認ください。
- ・停電になった場合でも非常灯が点灯いたします。
お部屋には非常灯、廊下・非常口には非常灯及び誘導灯が点灯いたしますのでご安心ください。
- ・お身体のご不自由な方、または特にご高齢の方はあらかじめ、デューティーマネージャー(ダイヤル「58」)へご連絡ください。

火災などで避難が必要な場合

・全館に非常放送が流れます。防災センターから火災などの状況説明、非難の指示等がありますので落ち着いて行動してください。・非難が必要な場合はホテルの係員が誘導いたします。非常の場合はエレベーターが停止いたしますので絶対にお使いになら

ないでください。非常口から避難階段で1階まで降りていただきますと係員がお客様を安全な場所へ誘導いたします。

・火災時、お部屋から出る際は延焼防止と煙の拡散防止のためドアを必ずお閉めください。お部屋の鍵、濡れタオル等をお持ちください。煙の出ている時は、姿勢を低くして非難してください。

火災に気がつかれた場合

- ・電話交換手(ダイヤル「9」)にお知らせください。
- ・お部屋の電話がかからないときは各階エレベーターホールの館内電話の受話器をおとりいただき電話交換手(直通)につながります。
- ・火災になると各種感知器が働いて防災センターで把握出来るようになっております。出火するとスプリンクラーが作動し、自動消火いたしますので、冷静に行動してください。

地震の場合

- ・当ホテルは強い地震にも十分耐えられる耐震構造で設計されておりますので、ご安心ください。
- ・地震が起きましたら、窓から離れ、天井からの落下物や家具の転倒から身を守るようご注意ください。
- ・最初に、たばこなどの火の始末をしてドライヤー、電気カミソリ等のプラグはすぐコンセントより抜いてください。防災センターからの非常放送の指示に従って冷静に行動してください。
- ・避難に際してはエレベーターには絶対に乗らないでください。

安全のために

- ・ご滞在時は安全のため、内鍵及びドアフックのご利用をお願いいたします。

お客様へのお願い

このたびは、当施設をご利用いただき誠にありがとうございます。
お客様の安全確保につきましては万全を期し、防災体制を整えておりますが、
万一のため、この手引書をご一読いただきご協力をお願い申し上げます。
なお、火の元にはくれぐれもご留意ください。

お部屋に着きましたら

- ①避難経路図で2か所以上の非常口とご自分の部屋との位置関係を確認し、
非常口まで実際に歩いてみてください。
- ②非常用懐中電灯の位置やフロントの電話番号を確認してください。
- ③身体のご不自由な方は、あらかじめフロントにお申し出ください。
- ④防災に関して、ご不明・ご心配な点がございましたら、フロントにお申し出
ください。



火災を出さないために

- ①タバコは灰皿のある場所で吸ってください。タバコの火は灰皿の中で
完全に消してください。
- ②ベッドでの喫煙はご遠慮ください。
- ③吸いがらはくずかごに捨てないでください。
- ④歩きながらの喫煙はご遠慮ください。
- ⑤照明器具に衣類やタオルをかけないでください。



火災を発見したら

- ①落ち着いて、フロントか従業員にすぐに連絡してください。
- ②大声で叫ぶか、音をたてて周囲の人々に知らせてください。
- ③煙や臭いなどで火災と思われる場合も、すぐにフロントか従業員に
連絡してください。



火災が発生したら

- ①廊下など周囲の状況をすぐに確認してください。
- ②従業員や非常放送により火災の発生状況や避難の指示をしますので、
落ち着いて行動してください。



避難される場合には

- ①廊下に火や煙が充満しているかどうか確認してください。
- ②従業員や非常放送の指示に従ってください。
- ③部屋をお出になるときは、延焼防止と煙の拡散防止のため、
必ずドアや窓を閉め、部屋の鍵を持って出てください。
- ④服装や持ち物にこだわらず、早く逃げてください。
- ⑤エレベーターは絶対に使用しないでください。
- ⑥一度避難されてから、貴重品などを取りに部屋にもどることは
危険ですので、絶対におやめください。



火や煙につつまれたら

- ①濡れタオルやハンカチなどで鼻や口をおおい、煙を吸わないように
してください。
- ②できるだけ姿勢を低くし、壁に沿って煙と反対方向の非常口から
避難してください。
- ③階段や廊下が火や煙で充満してどうしても逃げられない場合は、
部屋に戻ってください。



万一逃げ遅いたら

- ①気を落ちつかせて、避難できない旨をフロントに電話で連絡してください。
- ②空調設備のスイッチを切ってください。
- ③浴槽に水を張ってください。
- ④濡れタオルやシーツなどでドアのすき間をふさぎ、火や煙の侵入を
ふせいでください。
- ⑤窓からシーツやタオルなどを振ったり、夜間の場合は懐中電灯を振って、
外の人に知らせてください。



地震が起きたら

- ①落下物に注意し、身を守ってください。
- ②避難する際は、頭を保護してください。
- ③タバコの火をすぐ消し、ドライヤーなどの電気器具のプラグを
はずしてください。
- ④ドアを開けて避難路を確保してください。
- ⑤従業員や非常放送の指示に従い、冷静に行動してください。
- ⑥エレベーターは絶対に使用しないでください。
- ⑦建物からむやみに飛び出さないでください。
- ⑧窓ガラスから離れてください。
- ⑨予報や警戒宣言が発令された場合は館内放送等により
お知らせいたしますが、テレビ、ラジオ情報にもご注意ください。

